

講義名称	社会学	担当教員名	石井 幸夫
科目群	現代社会		
科目区分等	現代社会	単 位	2
対象学年次	2年・春学期	ナンバリング	

授業のキーワード	戦後日本社会、女性、労働。
授業の概要	戦後をおおよそ50-60年代、70-80年代、90年代以降と三分し、各時代における女性のあり方の特徴を講義します。
期待される学習成果（目標）	戦後日本社会の変遷を、女性、労働、家族といった概念を軸に、理解できるようにします。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	オリエンテーション	授業のあらまし、資料のダウンロード方法など
2	労働と愛	労働と愛の社会的機能
3	50-60年代女性労働力率の低下	人口要因
4	50-60年代女性労働力率の低下	経済的要因
5	50-60年代女性労働力率の低下	まとめ
6	中間試験	試験
7	映像資料視聴	優生保護法改正
8	70-80年代女性労働力率の上昇	女性のライフコース決定/夫の所得/ダグラス-有沢の法則、同類婚
9	70-80年代女性労働力率の上昇	女性のライフコース決定/夫の所得/格差社会化
10	70-80年代女性労働力率の上昇	女性のライフコース決定/子供の介護/エンゼル係数、少年非行
11	70-80年代女性労働力率の上昇	女性のライフコース決定/子供の介護/少子化
12	70-80年代女性労働力率の上昇	女性のライフコース決定/子供の介護/少子化(続)
13	70-80年代女性労働力率の上昇	女性のライフコース決定/まとめ
14	90年代女性労働概念の変化	労働市場の変化/消費社会化とグローバル化
15	90年代女性労働概念の変化	新しい労働概念

定期試験	記述式1200-1600字。問題は(ほぼ)事前告知。紙類の持込可。
評価方法	1定期(期末)試験(70~60%)、2中間試験(30~40%)により評価します。3提出物、4授業態度は随時加減点します。(中間試験、授業態度によって、学期途中で単位不認定となる場合があります。)
使用する教科書(必ず購入してください)	ありません。代わりに、ハンドアウト(講義概要)と資料をネット上から配布します(ダウンロード、印刷する必要があります)。
参考文献	山田昌弘『近代家族のゆくえ-家族と愛情のパラドックス』など。